

人にやさしいバス

我が国は2020年には4人に1人が65歳以上という高齢化社会を迎えようとしています。また車椅子利用者、高齢者等移動制約者の交通手段確保の要請はますます高まってきています。

このような状況の中、移動制約者等の乗降に配慮した、いわゆる「人にやさしいバス」の導入が近畿管内でも進められています。それらのバスを紹介しましょう。

ノンステップバス

我が国で現在使用されているバスの多くは地面からバス車両の床面までの高さが90cm程度あり、床面までのステップが2段となっています。

ノンステップバスは前、中扉の間の床面高さを35cm程度に下げ、床面までのステップをなくしています（ノンステップ化）。



ワンステップバス

前、中扉の間の床面高さを55cm程度に下げ、床面までのステップを1段としています。

リフト付きバス

車椅子で乗降ができるようにリフトを装着しているバスです。通常はステップの形状に折りたたみ、リフトとして使用するときにはこれを展開して使用するため、リフトのために特別なスペースを設ける必要がありません。

貸切バスにも近年導入する事業者が増えています。

スロープ付きバス

車室内床面と道路の路面との間に板を渡すことにより車椅子の乗降を行います。このスロープ板は通常床下に格納されており、引き出して使用されます。スロープ板の傾斜がきついと乗降が困難なため、低床化バス（ノンステップバス、ワンステップバス）と組み合わせて利用されることが多くなります。

